

和紙の原料「三極」咲き誇る・・・
「ミツバ岳」&「権現山」

実施日 2015年4月4日(土)
 天候 曇り
 リーダー 遠井 謙策
 参加者 福島政幸、涌井良明、山崎富美恵、白石恵美子、石附智江、遠井謙策、伊藤久雄、石原勝正、宇野輝代、斉藤伸二郎、徳山敬子、滝澤きよの 計12名
 費用 私鉄 1,544円(新宿駅起算)、バス代 1,880円
 タイム 新松田駅(8:10)浅瀬入口(9:15)滝壺橋(9:48)ミツバ岳山頂(11:00-11:45昼食)権現山(12:30)二本杉峠(13:20)細川橋(14:25~14:56)新松田駅(15:55)

増税と物価上昇の幕開けを予感させる新年度。中高年には気になる動向だ。それでも満開の桜に祝福されて始まるこの季節は、人の気持ちをうきうきとさせ心を弾ませる。然し今日は曇天！重そうに垂れ込めた厚い雲は今にも泣き出しそう。でも誰の顔にも不安感はない。明るい笑顔のこぼし会だ。

新松田駅からバスに揺られること1時間、丹沢湖畔の浅瀬入口バス停で下車する。落合隧道を抜け湖面からの冷たい風を受けて揺れるしだれ桜を左に見ながら車道を30分程歩く。3段の滝を見やりながら滝壺橋を渡るとすぐ横に登山口がある。

いきなりの急登だ。杉や灌木の林をジグザグジグザグ登っていくと、早くもあっちにミツマタこっちにミツマタと今日のお目当てが登場してくる。

心配した天気もガスっては来たものの何とか頑張ってくれている。前から後ろから声を掛け合い登って行く。つられてカ



エルも時折りご挨拶とばかり跳んで出る。



山頂には更に見事なミツマタの群生が待っていてくれた。若干ピークを過ぎたかに見えるが、どうしてどうしてまだまだ立派

だ。そこは平らで広く気持ちも良いので、少し早い昼食タイムとする。その間同じような仲間が次々と現れて歓声を上げて行く。

次に向った今日の最高峰1,019mの権現山、下山途中の二本杉峠道にも、これでもかとばかりミツマタが現



れ完璧に三極デーを演出してくれた。

後半は徐々にガスも晴れ明るくなってきたし、富士とのご対面はお預けだったが、その分、足元のスマレやマムシ草等に目が届き、草や花の学習が出来たかも。

難易度評価はどうだっただろう？歩行距離的には適度な疲労感を味わえたと思うが、権現山付近の急坂等☆☆にしては少しきつかったかな？



雑学と豆知識)～「三極と紙幣」～Uさんが教えてくれました。

和紙の原料としては、楮・三極・雁皮(がんぴ)が有名だが、日本の紙幣は大半がミツマタを主原料としている(昭和30年頃からはマニラ麻も併用)。理由：滑らかな風合い(ふうあい)があり、最も大切な耐久性を持つ。又印刷や透かし等の加工性にも優れる。尚、人工栽培が容易で調達安定性を持つことも大きい。

(記・遠井 謙策)

(写真提供・涌井良明/伊藤久雄/石原勝正)

